

2025 年 9 月 4 日

電動車の遠隔充電制御に関する実証開始を合意

東京ガス株式会社
三菱自動車工業株式会社
Nature 株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）と三菱自動車工業株式会社（社長：加藤 隆雄、以下「三菱自動車」）、Nature 株式会社（CEO：塩出 晴海、以下「Nature」）の3社は、東京都の「家庭の環境アクション推進事業」に採択された*¹ 電動車の遠隔充電制御実証（以下「本実証」）について、2025 年度下期より開始することを合意しました。あわせてモニターの募集を 2025 年 9 月 5 日（金）より開始します。

東京都は 2025 年 5 月の「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」で、2030 年までに都内の新車販売台数（乗用車）に占める非ガソリン車割合を 100%にする目標を掲げています。電動車の更なる普及を見据え、帰宅後の夕方に充電需要が集中することを避け、電力供給を安定させるため、充電する時間を最適化する制御が求められます。3 社は、①車両データ（車両 SOC*² など）・②電力市場価格・③宅内消費電力等を連携させて、充電時間帯を最適化する遠隔充電制御システムを構築し、地域の電力需給ひっ迫の抑制、CO₂ 削減と需要家の電気料金低減に貢献することを目指します。

本実証では、①電動車のコネクティッド技術*³ を通じて取得した車両データと、②電力市場価格をもとに充電計画を策定し、遠隔指令で自宅の充電器を自動制御します。

また、戸建住宅では、充電時に契約容量を超過してブレーカーが遮断されることが課題になっています。本実証では、③宅内消費電力と連携することで、契約容量を超過しそうな場合には、充電計画を自動的に調整し、ブレーカー遮断を回避します。さらに、太陽光発電設備設置世帯では、余剰電力に応じて充電計画を最適化することで、発電電力の自家消費の最大化を図ります。

本実証のモニター対象は、東京都内戸建住宅で三菱自動車のコネクティッドサービスに加入している『アウトランダーPHEV』を自宅の屋外コンセントから充電している世帯です。また、『Nature EV Switch』*⁴ および『Nature Remo E』*⁵ の設置が可能で、Wi-Fi 環境をご用意いただけることが条件となります。参加者には特典として QUO カード 20,000 円分と、充電量や充電する時間帯に応じた「充電ポイント」*⁶ を進呈します。募集概要は下表（実証モニター募集概要）を参照ください。

3 社は、東京ガスのエネルギーマネジメント技術、三菱自動車のコネクティッド技術、Nature の充電制御技術を活かしながら、本実証を通じて遠隔制御に関する受容性、CO₂ 削減量、電力需給ひっ迫回避効果などの社会的効果、ならびに経済性について総合的に検証し、事業化に向けて検討を進めていきます。

*1：「家庭の環境アクション推進事業」の詳細は[こちら](#)。

*2：車両 SOC（State of Charge）は、EV 駆動用バッテリー残量を示す指標です。

*3：コネクティッド技術とは、車載通信機（テレマティクス）を介して車両データをクラウドへ送信・取得し、遠隔制御やサービス連携を可能にする技術です。

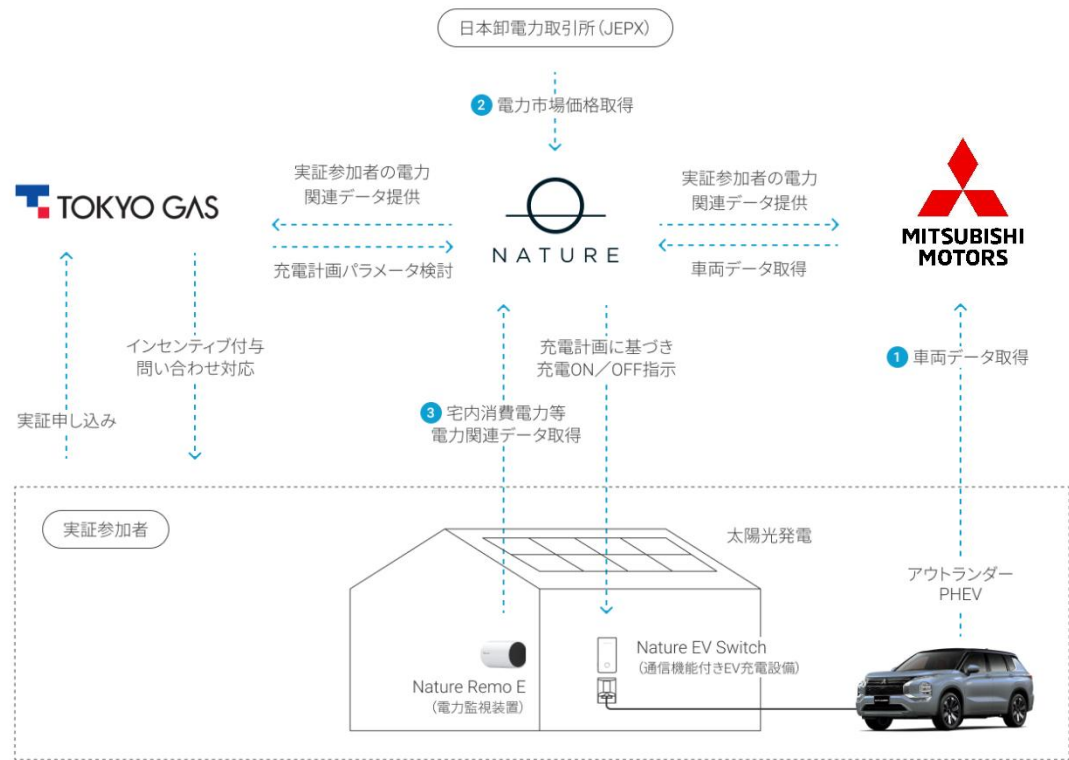
*4：『Nature EV Switch』は、EV充電用コンセントと接続し、内蔵のLTE通信機能でクラウドシステムと連携することで、充電状況のモニタリングや充電の最適化ができるデバイスです。

- *5：『Nature Remo E』は、家庭のエネルギー使用をスマートフォンで手軽に見える化・管理できるデバイスです。
- *6：通信機能付き充電設備を介して、最適な時間に電動車を充電した場合、充電量や充電する時間帯に応じた「充電ポイント」を進呈します。
(実証終了後に1ポイント=1円として換算し、端数は500円単位で切り上げのうえQUOカードでお渡しします。)

<実証モニター募集概要>

応募期間	2025年9月5日(金)～2025年9月23日(火)(予定)
実証期間	2025年12月～2026年5月(予定)
対象世帯	東京都内戸建住宅の『アウトランダーPHEV』所有者
特典	・QUOカード20,000円分 ・充電量に応じた「充電ポイント」
参加条件 (全て満たすこと)	・東京都内で戸建住宅にお住まいの方 ・『アウトランダーPHEV』をお持ちで、自宅で屋外コンセントから充電されている方 ・コネクティッドサービス「MITSUBISHI CONNECT」に加入している方 ・『Nature EV Switch』および『Nature Remo E』の設置が可能な方 ・自宅にWi-Fi環境がある方 ・実証期間中、東京ガスからお送りするアンケート(週1回程度)にご回答いただける方
主な 制御要素	①車両データ②電力市場価格③宅内消費電力の連携による充電時間の最適化 ・充電自動調整機能によるブレーカー遮断回避 ・太陽光発電の余剰電力に応じた充電の最適化
参加方法	・WEBより申し込み(詳細は こちら) ※応募者多数の場合、車の利用状況等をもとに参加者を3社にて決定します

<スキーム図>



<各社の役割>

会社名	役割
東京ガス株式会社	実証の全体統括・実証結果分析
三菱自動車工業株式会社	車両情報の取得・連携
Nature 株式会社	電力市場価格や車両情報をもとに充電計画策定・充電器への充電指示

以上